

Press Release(H28/6/27)

岐阜大学生企画「養老鉄道クエスト」を開催します

～ 養老町と神戸町で、小学生が地域探検ゲームに挑戦 ～

岐阜大学工学部社会基盤工学科3年生が、デザイン演習授業の一環で企画した地域探検ゲーム「養老鉄道クエスト」を、養老町と神戸町で開催します。

この企画は、まち歩きをしながら地域資源を探索するというロールプレイングゲーム(RPG)のリアル版です。養老鉄道や沿線地域の謎を解き明かしてゴールを目指すというストーリーで、参加者がこれに挑みます。ゲーム参加者は手引書を頼りに、養老鉄道を利用しながら沿線地域の地域資源を探索します。参加者が駅やお店を訪ねると、ヒントがもらえたり、ボーナスポイントがもらえたりし、ゴールできた時にはお楽しみを準備しています。

については貴社の情報コーナー等への掲載及び当日の取材についてよろしくお取り計らい願います。

○日時：平成28年7月3日(日) 9:00～14:00頃

○場所：養老鉄道および養老鉄道沿線地域

Aコース：「北神戸駅」からスタート

Bコース：「烏江駅」からスタート

Cコース：「美濃高田駅」からスタート

Dコース：「養老駅」からスタート

(いずれのコースも、スタート駅周辺を探検した後、養老鉄道に乗車して隣接駅へ移動し周辺地域を探検する。)

○スケジュール

9:00～10:30 受付後、順次スタートし、14:00までにゴールする。

○参加者

小学生、および保護者(各コースの定員は30名、合計最大で120名)(参加費一人300円)

○実施体制

主催：岐阜大学工学部社会基盤工学科授業「環境デザイン」

(岐阜大学次世代地域リーダー育成プログラム・地域志向科目)

後援：養老鉄道の未来をつくるネットワーク西濃

(2ページ目に続きます)

○背景と目的

養老鉄道は8年連続で赤字が続き、存続の危機に直面しています。沿線7市町と近鉄、養老鉄道は来年中に運営方式を変更することで合意しており、鉄道施設と車両は沿線市町が設立する新法人が近鉄から無償譲渡を受けて保有・管理を引き継ぎ、運行は養老鉄道が行うが、新法人が一部出資するという上下分離方式となる予定です。ただし、この運営方式の変更により沿線市町の負担額が増えることが予想されており、課題も多く残されています。一方、西濃地域沿線6市町の住民団体による連合団体「養老鉄道の未来をつくる ネットワーク西濃」が発足し、定期的な学習会を開いて政策提言を行う他、「乗って守ろう」など地域の足を守る活動が行われています。

本プロジェクトである地域探検ゲーム「養老鉄道クエスト」は、養老鉄道の存続問題に対して、自分達で何ができるかを考えて実施するものです。この養老鉄道を利用したイベントの実施を通して、養老鉄道の存続問題をより多くの地域住民に知ってもらい、養老鉄道沿線地域の活性化に繋げることを目的としています。地域探検ゲームの企画は、岐阜大学工学部社会基盤工学科の授業『環境デザイン』の一環として大学生が行っています。岐阜県唯一の国立大学法人である岐阜大学が地域の課題解決に自ら取り組む事業でもあります。

(イベントポスターは、3ページ目をご覧ください。)

【本件に関する問い合わせ先】

岐阜大学工学部社会基盤工学科教授 高木朗義

電話：058-293-2445（緊急時：080-5125-3390）

E-mail：a_takagi@gifu-u.ac.jp

一般社団法人 Do It Yourself 代表理事 東善朗

電話：090-1820-9366